

## 簡易フォーマット入力項目（日本語）

2017/11/13 3.0 版

**1. 環境全般****1.1. 報告の範囲****■ 1.1.1. 基本的な報告対象範囲（必須）**

本報告の対象組織の範囲に該当するものを選択してください。環境課題の種類や設定する目標によって対象範囲が異なる場合には、本報告全体として最も近い内容の選択肢を選択し、その内容との差異は各環境課題、目標等の記入欄に記載してください。

- 自社単体
- 自社+国内連結子会社
- 自社+国内・海外連結子会社
- その他

**■ 1.1.2. 詳細記述（主要な子会社名及び範囲の方針）（必須）**

例えば、本報告の対象組織の範囲に含まれる主要な子会社名や、範囲を規定する上での方針や条件があればその内容について記入してください。また、《基本的な報告対象範囲》にて”その他”を選択した場合には、対象範囲について説明してください。

**■ 1.1.3. 報告対象期間（必須） 入力例：2013年4月1日 ⇒ 20130401**

本報告の対象期間について、期首年月と期末年月（例 20160401~20170331）を記入してください。基本的に、最新の1年分を記載してください。なお、以下の報告はこの対象期間についての状況が反映されていると認識されます。異なる報告年の回答をする場合は、補足情報などの欄に注記をしてください。

 ~ **1.2. 経営者のコミットメント****■ 1.2.1. 経営者による環境に関するコミットメントがありますか。（必須）**

経営者による環境に係るコミットメントの有無を選択してください。

- ある
- ない

**■ 1.2.1a. 内容（必須）**

《1.2.1 経営者による環境に関するコミットメントがありますか。》で、“ある”を選択した場合に回答が必要です。

経営者による環境に係るコミットメントの内容を記入してください。

**2. 重要な環境課題分野の特定**

御社の経営において重要な環境課題であるものを特定するための設問です。

**環境課題****■ 2.1. 気候変動（含エネルギー）（必須）**

石油、天然ガス、石炭等の化石燃料の使用、それらの活動に伴い排出される温室効果ガス（非エネルギー起源も含む）の増加による地球温暖化とその影響、関連する対策、政策、社会的評判などに関わる課題が考えられます。

簡易フォーマットでは、“重要”以外は選択不可となっております。

- 重要

### 3. 環境課題詳細

---

#### 環境課題概要

##### 3.1. 気候変動（含エネルギー）

---

###### ■ 3.1.2. リスク

御社の事業活動や収支に影響するような、現在または将来における気候変動リスクがありますか。 **（必須）**  
御社の現在または将来における事業活動や収支に影響するようなリスクの有無を選択してください。

- ある
- ない
- 評価していない

###### ■ 3.1.3. 機会

御社の事業活動や収支に影響するような、現在または将来における気候変動による機会がありますか。 **（必須）**

御社の現在または将来における事業活動や収支に影響するような機会の有無を選択してください。

- ある
- ない
- 評価していない

###### ■ 3.1.4. 目標

報告年時点で目標が設定されていますか。 **（必須）**

報告年時点における気候変動に関する目標の有無を選択してください。

- 設定されている
- 設定されていない

###### ■ 3.1.5. スコープ1、2排出量

報告年におけるスコープ1 & 2排出量を把握していますか。 **（必須）**

報告年時点におけるスコープ1、スコープ2の排出量の把握有無を選択してください。

- はい
- いいえ

#### 気候変動（含エネルギー）

##### 3.1.2a. リスク

---

《3.1.2. リスク》で“ある”を選択した場合に回答が可能です。

“追加”ボタンを押すと回答欄が追加されます。

リスク詳細 <b>（必須）</b>	
リスクによる影響の詳細 <b>（必須）</b>	

<b>対応策（必須）</b>	
----------------	--

- ・ リスク詳細：リスク要因となり得る情報を含むリスクの内容を記述してください。
- ・ リスクによる影響：リスクによる影響が2つ以上考えられる場合には、最も影響が大きいと思われるものを選択してください。
- ・ 対応策：リスク管理のために現在行っているまたは計画している手法とその効果、リスク管理にかかる費用の有無や規模などを回答してください。

《3.1.2. リスク》で“ない”を選択した場合に回答が必要です。

**リスクがない理由（必須）**

--

- ・ もしリスクがない場合には、なぜないのか回答してください。

**3.1.3a. 機会**

《3.1.3. 機会》で“ある”を選択した場合に回答が必要です。

“追加”ボタンを押すと回答欄が追加されます。

<b>機会詳細（必須）</b>	
<b>機会による影響の詳細（必須）</b>	
<b>対応策（必須）</b>	

- ・ 機会詳細：機会要因を記入してください。
- ・ 機会による影響の詳細：機会が顕在化すると考える時期、影響を受ける可能性の大きさ、機会が顕在化した場合に事業に与える影響の程度、機会によってもたらされる財務影響などを回答してください。
- ・ 対応策：機会最大化のために現在行っているまたは計画している手法とその効果、機会管理にかかる費用の有無や規模を回答してください。

《3.1.3. 機会》で“ない”を選択した場合に回答が必要です。

**機会がない理由（必須）**

--

- ・ 機会がない理由、または機会が企業の活動や収支に重要な変化をもたらさないとする理由などを回答してください。

**3.1.4a. 目標（総量、原単位、総量・原単位以外の目標）**

《3.1.4. 目標》で“設定されている”を選択した場合に回答が必要です。

“追加”ボタンを押すと回答欄が追加されます。

<b>目標の種類（必須）</b>	<input type="radio"/> 総量目標 <input type="radio"/> 原単位目標 <input type="radio"/> 総量・原単位以外の目標
<b>項目（必須）</b>	
<b>目標の範囲</b>	
<b>補足説明</b>	

- ・ 目標の種類：目標の種類を選択してください。
- ・ 項目：目標の具体的な内容を簡潔に記載してください。
- ・ 目標の範囲：目標の対象組織範囲について該当するものを選択してください。
- ・ 補足説明：目標設定上、説明が必要なことがあれば記載してください。目標の範囲から除外される対象があればその内容と理由を記入してください。

## 気候変動（含エネルギー）（スコープ1、2排出量）

### 3.1.5a. スコープ1、2算定範囲

《3.1.5.スコープ1、2排出量》で“はい”を選択した場合に回答が可能です。

#### 算定範囲

スコープ1、2の対象組織の範囲について選択してください。

- 自社単体
- 自社+国内連結子会社
- 自社+国内・海外連結子会社
- その他

### 3.1.5b. スコープ1排出量

	単位	年 ※報告年を含む5年分				
排出量総量	tCO <sub>2</sub> e					

- ・ 報告年を含む5年分の値を入力してください。排出量を測定していない場合は空欄、排出量がない場合には0と回答してください。

### 3.1.5c. スコープ2排出量

	単位	年 ※報告年を含む5年分				
排出量総量	tCO <sub>2</sub> e					

- ・ 報告年を含む5年分の値を入力してください。排出量を測定していない場合は空欄、排出量がない場合には0と回答してください。

## 5. 製品・サービスにおける環境面での競争優位性

### ■ 5.1. 競争面において競争優位性がある製品・サービスがありますか。（必須）

環境面において競争優位性がある製品・サービスの有無を選択してください。（御社の経営において、重要性の高いものに絞って回答してください。）

- ある
- ない

### ■ 5.1a. 製品・サービス

《競争優位性がある製品・サービスがありますか。》で、“ある”を選択した場合に回答が必要です。

競争優位性がある製品・サービスが複数ある場合、“追加”ボタンにより回答欄を追加することができます。

製品・サービスの概要（必須）	
製品・サービスの環境優位性（必須）	

- ・ 製品・サービスの概要：製品・サービスのカテゴリや名称などがわかるように具体的に記載してください。また、前述のリスク・機会に関する記入や目標との関係など、経営上の重要性が理解できる情報が記載されるとよいでしょう。
- ・ 製品・サービスの環境優位性：環境面での競争優位性について具体的に理解できる情報を記入してください。（採用されている技術の概要や、環境性能、規制への対応状況など。必要に応じて数値情報を交えるとよいでしょう。）

## 6. 環境関連法令・指針等遵守 環境事故・訴訟等の状況

### ■ 6.1. 報告年に、環境関連法令、その他の各種協定や指針等に関連しての遵守違反や逸脱事象、環境事故、あるいは訴訟となっている事象がありましたか。 **(必須)**

報告年において、環境関連法令、その他の各種協定や指針等に関する遵守違反や逸脱事象、訴訟となっている事象の有無を選択してください。（御社の経営において、重要性の高いものに絞って回答してください。）

- ある  
○ ない

#### ■ 6.1a. 指導・罰則・罰金・訴訟内容

《6.1. 報告年に、環境関連法令、その他の各種協定や指針等において、報告年に遵守違反や逸脱事象、訴訟となっている事象がありましたか。》で、“ある”を選択した場合に回答が可能です。

報告年に、環境関連法令、その他の各種協定や指針等に関連しての順守違反や逸脱事象、指導、罰則・罰金などの処分、あるいは訴訟となっている事象の内容やその可能性がある場合にはその内容について記入してください。

--

#### ■ 6.1b. 財務的影響

《6.1. 報告年に、環境関連法令、その他の各種協定や指針等において、報告年に遵守違反や逸脱事象、訴訟となっている事象がありましたか。》で、“ある”を選択した場合に回答が可能です。

罰則や罰金、賠償額等の状況を含む財務的影響を記入してください。

--

#### ■ 6.1c. 是正状況

《6.1. 報告年に、環境関連法令、その他の各種協定や指針等において、報告年に遵守違反や逸脱事象、訴訟となっている事象がありましたか。》で、“ある”を選択した場合に回答が可能です。

遵守違反や逸脱事象、環境事故、訴訟等の原因事象に関する是正状況について記入ください。

--

## 7. 参考情報

“追加”ボタンを押すと回答欄が追加されます。

URL	説明

- ・ URL：環境報告書、CSR報告書等の報告書、Webページ等参考情報のURLを記入してください。
- ・ 説明：上記URLの情報の内容について簡潔にご説明下さい。